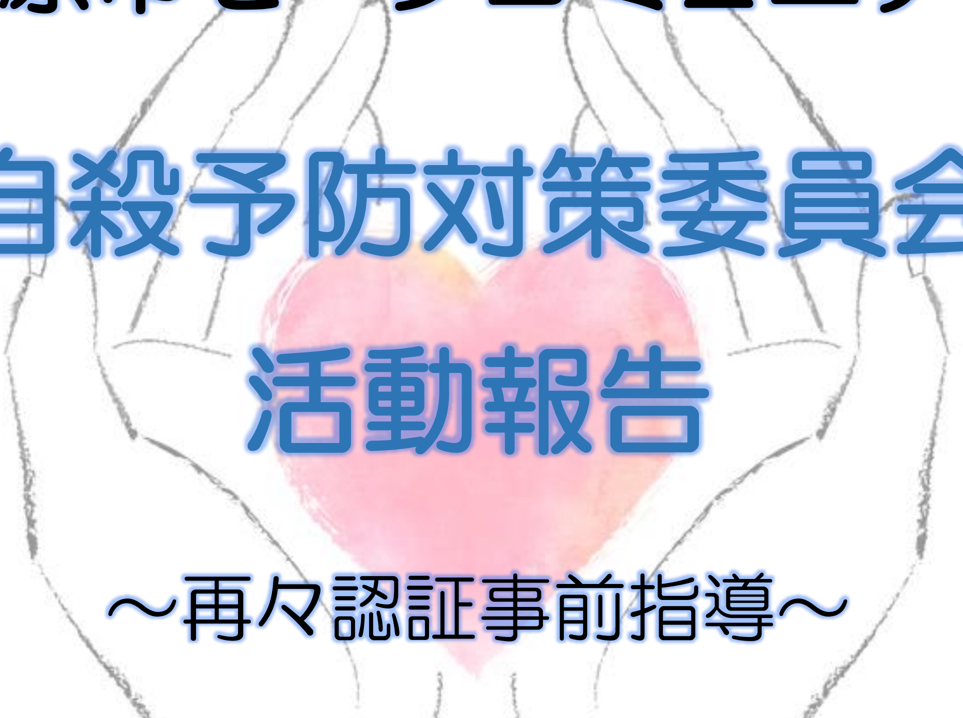
松原市セーフコミュニティ

自殺予防対策委員会
活動報告



～再々認証事前指導～

報告者：自殺予防対策委員会 委員長　津村 英子
所　属：松原市民生委員児童委員協議会 会長

対策委員会設置の背景①

15歳～69歳までの年齢層において上位5位以内の死因である

年齢層別死因順位（2007年～2011年） （出典：人口動態統計）

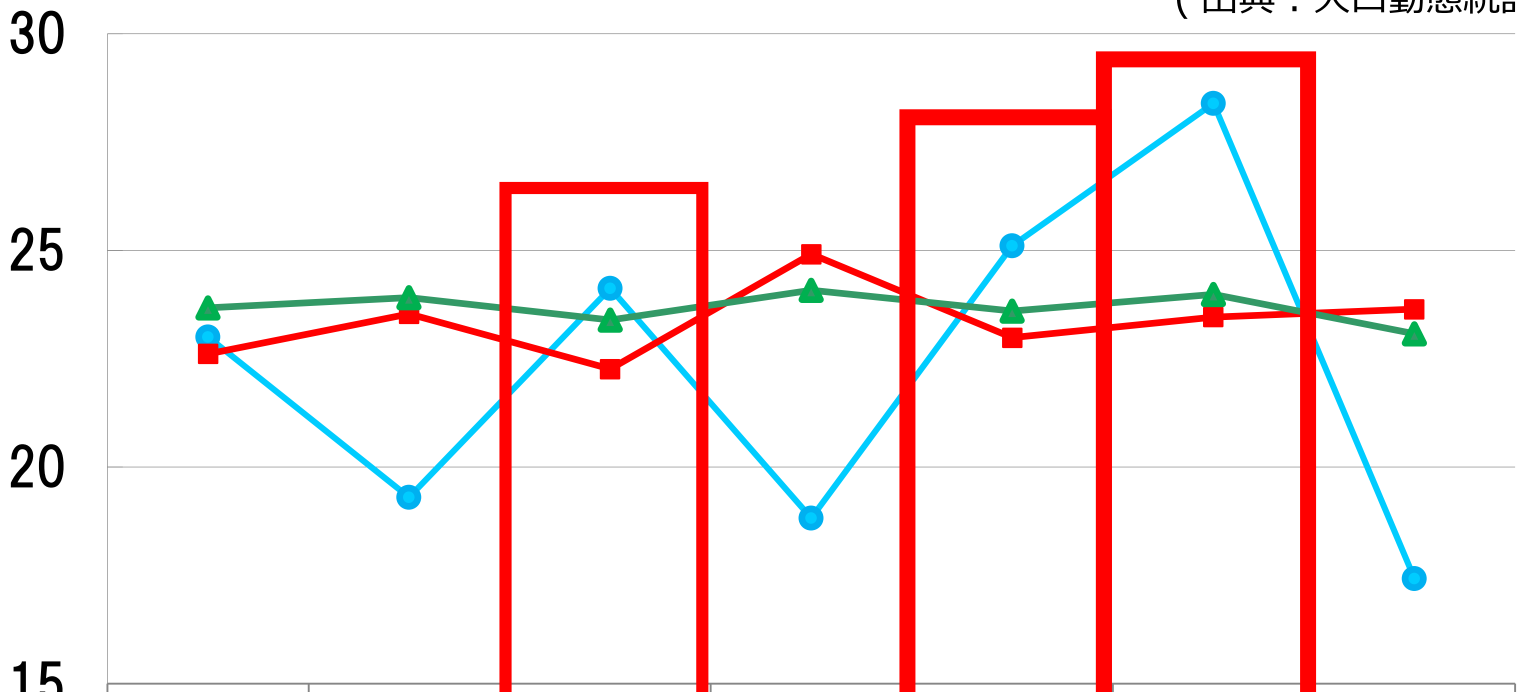
	1位	2位	3位	4位	5位
0歳	先天奇形等	周産期の病態	消化器系疾患、乳幼児突然死症候群、不慮の事故		
1～4歳	腸管感染症、内分泌及び代謝疾患、神経系疾患、不慮の事故、その他の外因				
5～9歳	悪性新生物、不慮の事故		–	–	–
10～14歳	先天奇形等	感染症等、悪性新生物、その他の外因			–
15～19歳	呼吸器系疾患、不慮の事故、**自殺**			–	–
20～24歳	**自殺**	心疾患、不慮の事故、他殺			–
25～29歳	**自殺**	不慮の事故	脳血管疾患	悪性新生物、呼吸器系疾患	
30～34歳	**自殺**	心疾患、脳血管疾患、その他			不慮の事故、他
35～39歳	**自殺**	悪性新生物	不慮の事故	心疾患	脳血管疾患、他
40～44歳	**自殺**	脳血管疾患	悪性新生物、心疾患		不慮の事故
45～49歳	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患、**自殺**		不慮の事故
50～54歳	悪性新生物	心疾患	**自殺**	脳血管疾患、不慮の事故	
55～59歳	悪性新生物	心疾患	**自殺**	脳血管疾患	肝疾患
60～64歳	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肝疾患	**自殺**
65～69歳	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	**自殺**	肺炎
70～74歳	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	呼吸器系疾患
75～79歳	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故
80～84歳	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	呼吸器系疾患
85～89歳	心疾患	悪性新生物	肺炎	脳血管疾患	呼吸器系疾患
90歳以上	心疾患	肺炎	悪性新生物	脳血管疾患	老衰

対策委員会設置の背景②

2006年、2008年、2009年は国や府を上回る割合

年間における自殺者数（10万人あたり）

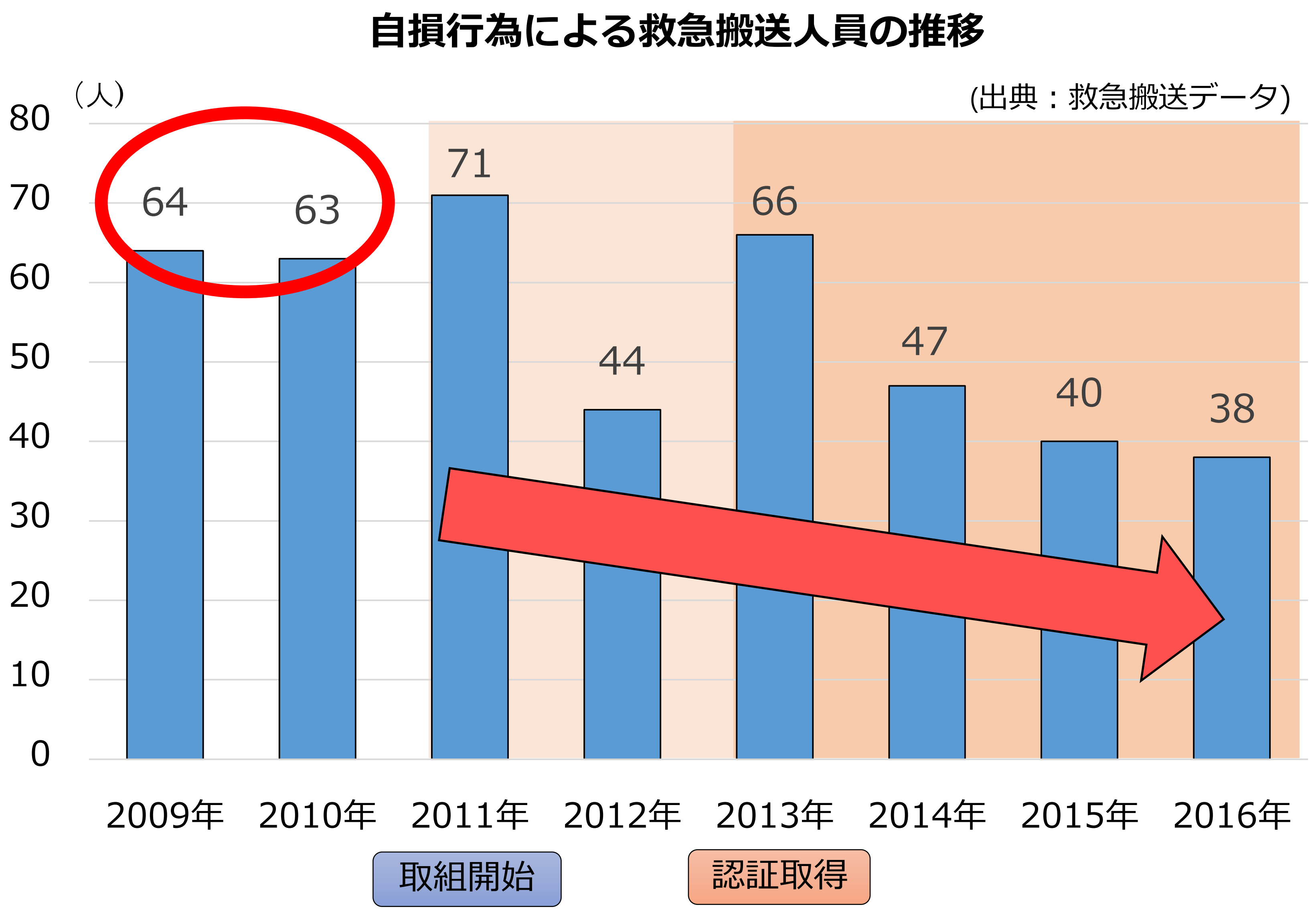
（人/10万人）　　　　(出典：人口動態統計)



	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
松原市	23	19	24	19	25	28	17
大阪府	23	24	22	25	23	23	24
全国	24	24	23	24	24	24	23

対策委員会設置の背景③

自損行為により年間 **60人以上** が救急搬送されている



自殺予防対策の必要性

背景①
15歳～69歳までの年齢層において、上位5位以内の死因が自殺となっている

背景②
10万人あたりで換算すると、毎年約30人が自殺で亡くなっている

背景③
自損行為により年間60人以上が救急搬送されている

↓

自殺予防対策委員会の設置

自殺予防対策委員会の構成

区分	団体･組織名	委員数
住民組織等	松原市民生委員児童委員協議会	2
	松原市障害者施策推進協議会	1
	松原市人権啓発推進協議会	1
	松原市男女共同参画推進審議会	1
	松原商工会議所	1
	ＮＰＯ法人 やんちゃまファミリーwith	1
	ＮＰＯ法人 子育て支援ぽけっと	1
	こころネット	1
	ＮＰＯ法人 介護支援の会 松原ファミリー	1
関係機関	松原市地域包括支援センター　社会福祉協議会	1
	松原市地域包括支援センター　徳洲会	1
	大阪府藤井寺保健所	1
行政機関	松原市　人権交流室	2
	松原市　障害福祉課	2
	松原市　地域保健課	2
	松原市　産業振興課	2

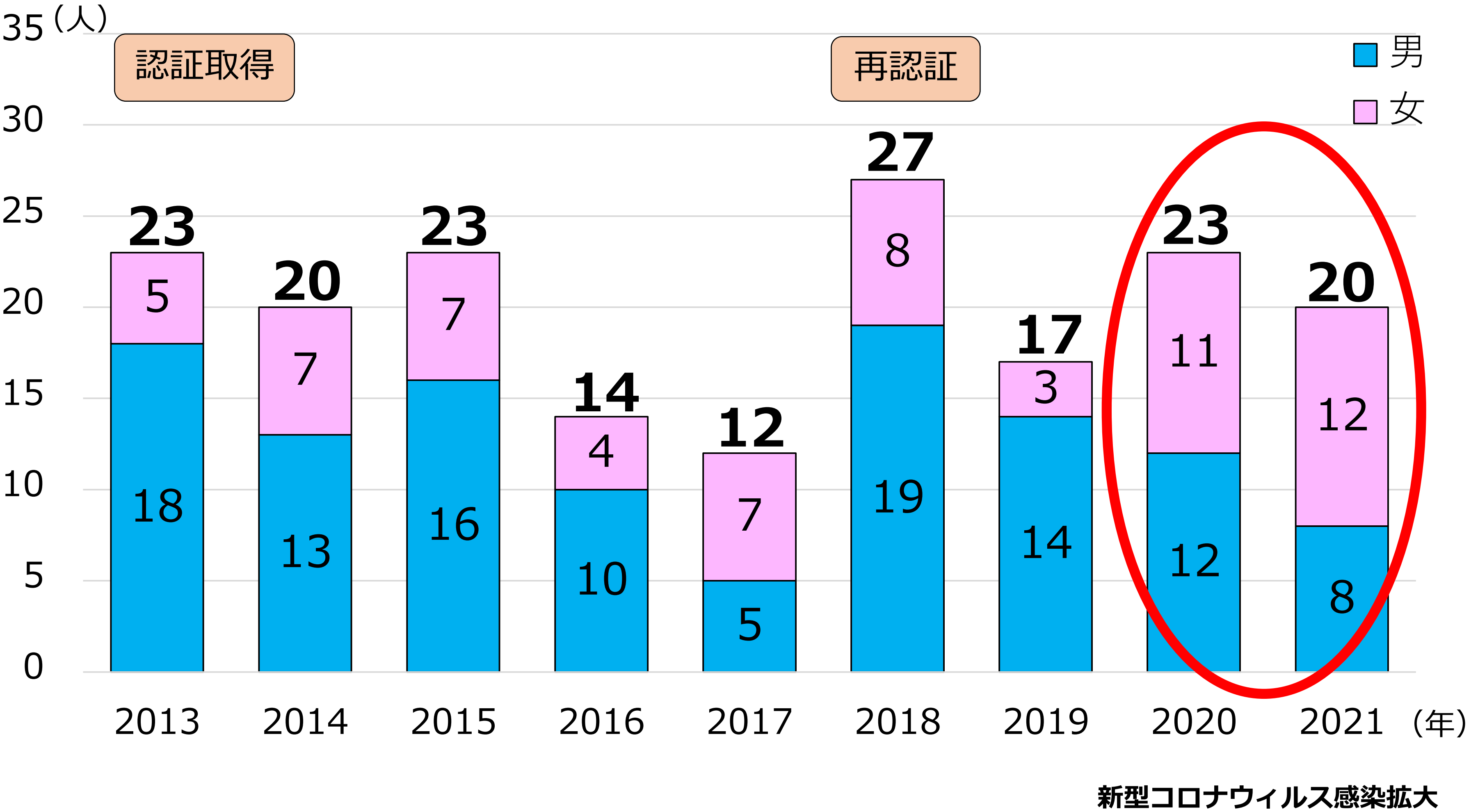
合計　21名

データに基づく客観的課題①

女性に比べ、男性の自殺者数の割合が多い傾向にあったが、コロナ禍の影響を大きく受け、女性の割合も増加している。

（図表1：松原市における自殺者数の推移）

(出典：地域における自殺の基礎資料)

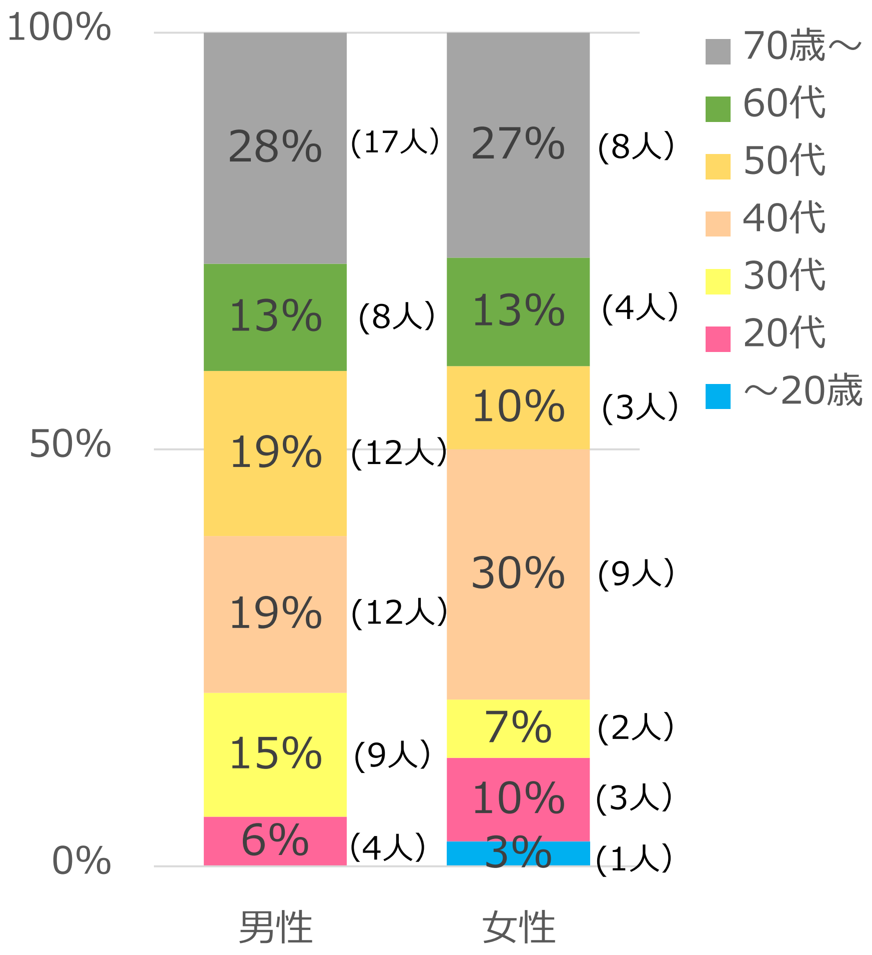


データに基づく客観的課題②

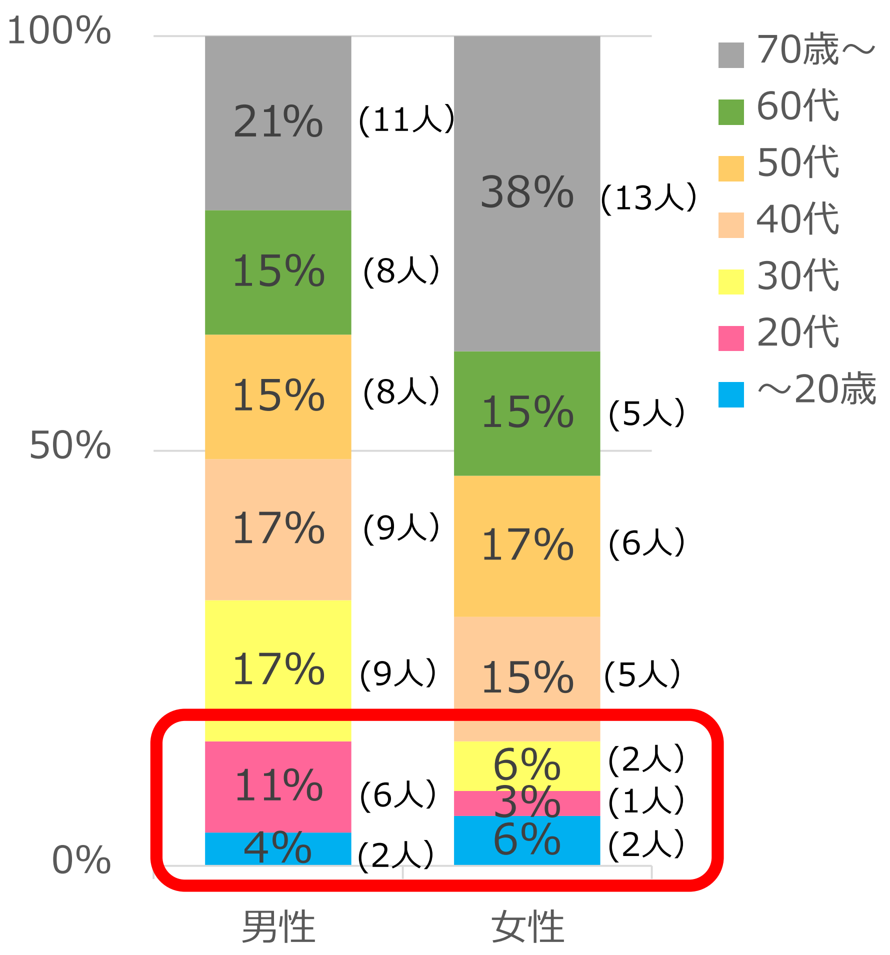
若年層の自殺も増加し、幅広い年齢層で自殺が発生している。

（図表２：松原市における年齢別でみる男女別自殺者数）　(出典：地域における自殺の基礎資料)

再認証時　(2013年～2017年)



現　在　(2018年～2021年)



データに基づく客観的課題③

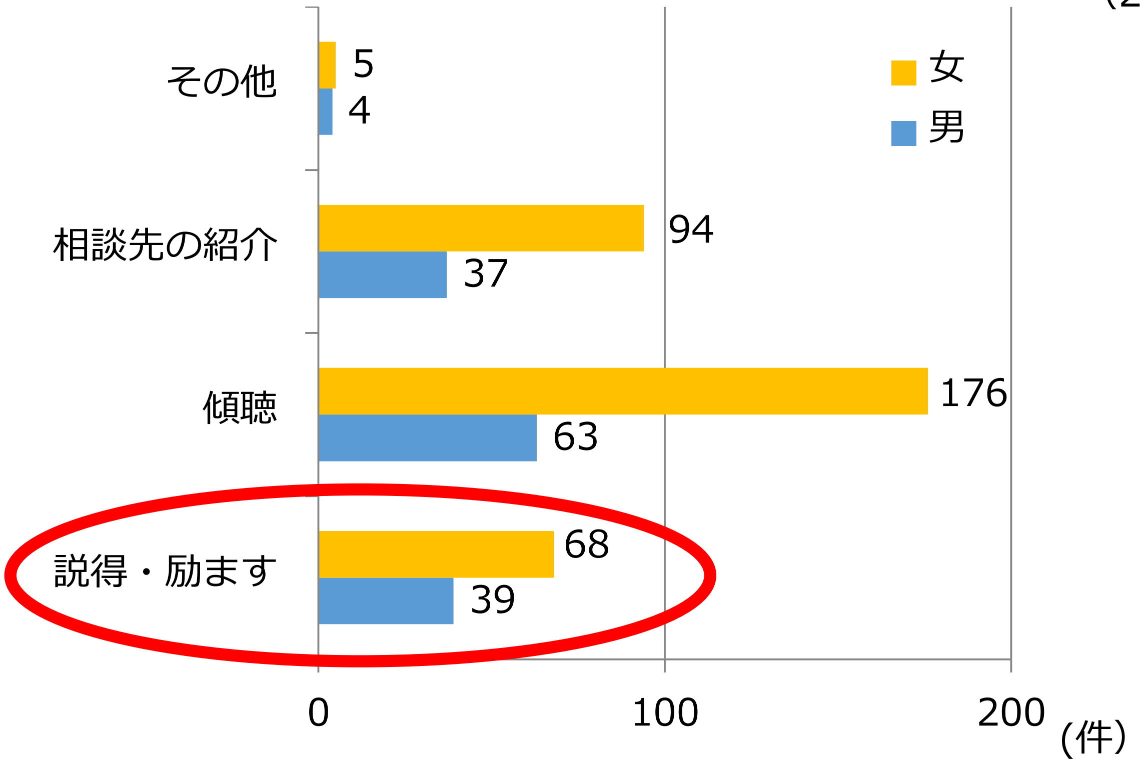
・**身近な人からの相談に対し、適切な対応になっていないことが多い。**
・**同居していたとしても、自殺につながる危険なサインに気づけていない可能性が高い。**

身近な人から「死にたい」と相談された時の対応

（出典：イベント時のアンケート調査 2017年度）

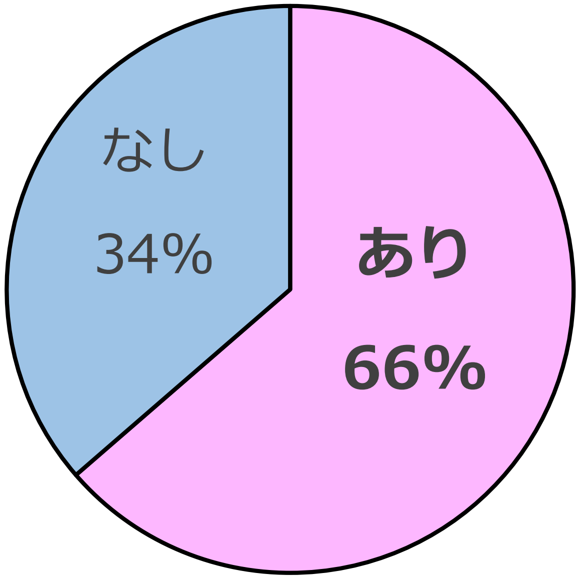
(出典：地域における自殺の基礎資料)

（図表3-1（複数回答））



（図表3-2: 同居人の有無）

（2013年～2021年）　n=178



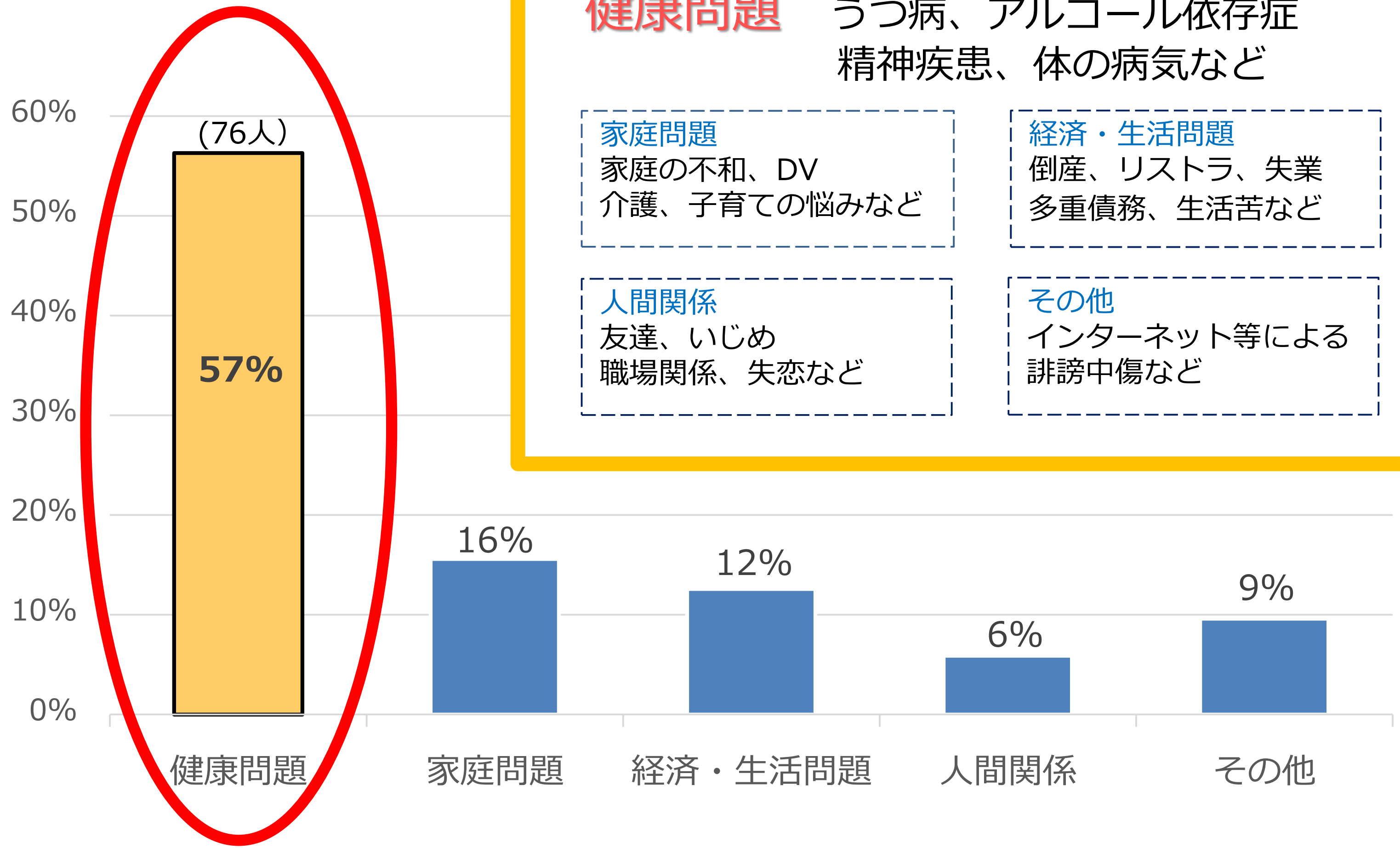
データに基づく客観的課題④

家庭や経済・生活問題等のさまざまな要因が複雑に絡まり、健康問題に至っているケースが多い。

（図表4：自殺の原因動機）

（出典：地域における自殺の基礎資料）

（2017年～2021年）



健康問題　うつ病、アルコール依存症
精神疾患、体の病気など

家庭問題
家庭の不和、DV
介護、子育ての悩みなど

経済・生活問題
倒産、リストラ、失業
多重債務、生活苦など

人間関係
友達、いじめ
職場関係、失恋など

その他
インターネット等による
誹謗中傷など

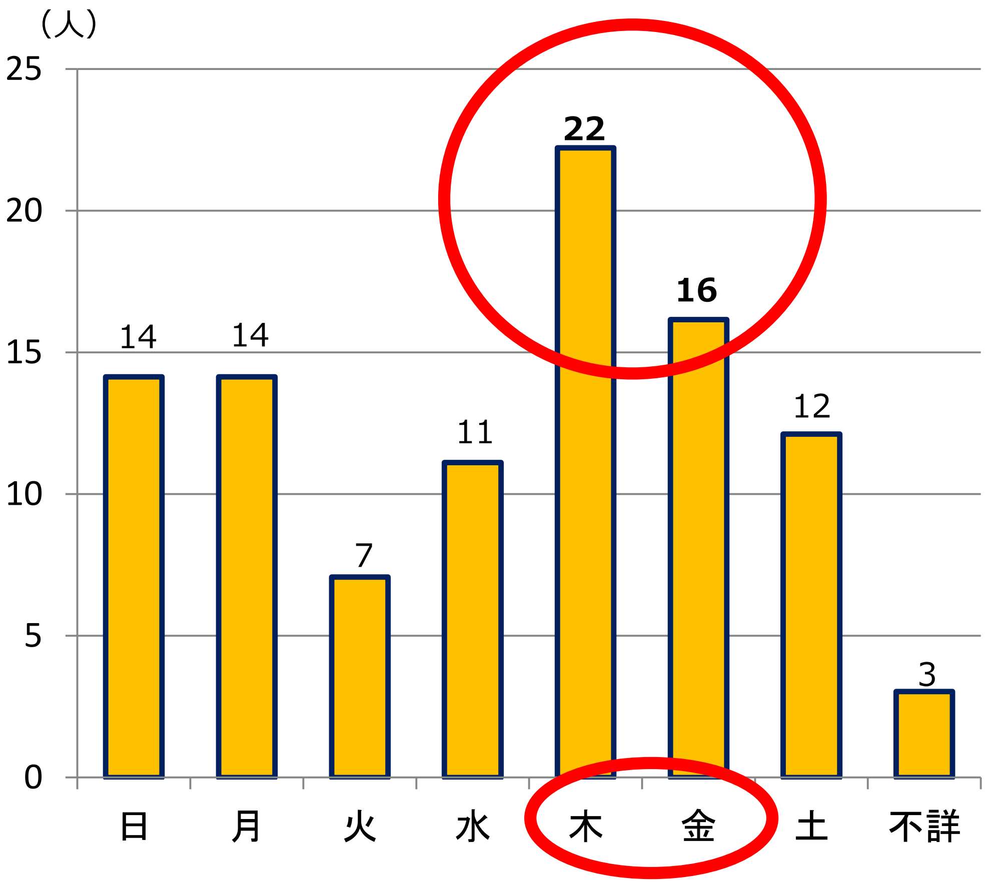
データでみるその他の特徴

曜日別の自殺者数の割合は、週末に向かう木曜日、 金曜日が多い傾向にある。また、自殺未遂歴が少なく、自殺に至っているケースが多い。

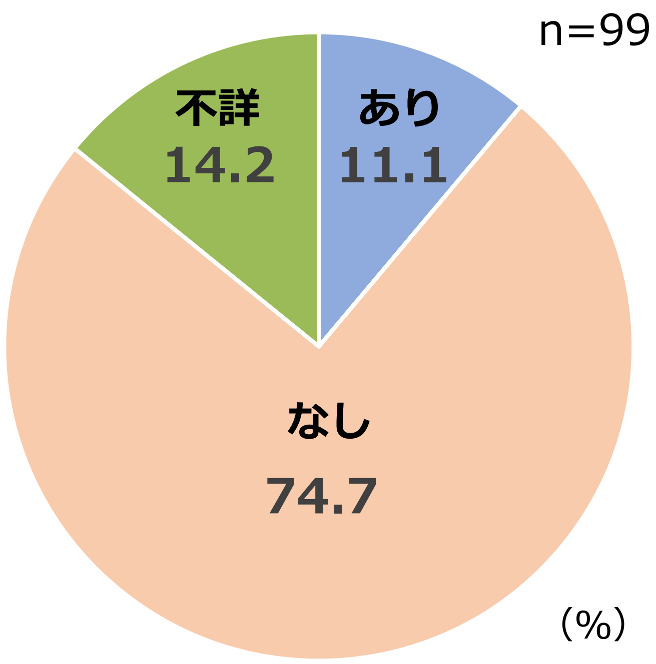
2017年～2021年

（出典：地域における自殺の基礎資料）

（図表5-1：曜日別の自殺者数）



（図表5-2：自殺未遂歴の有無の割合）



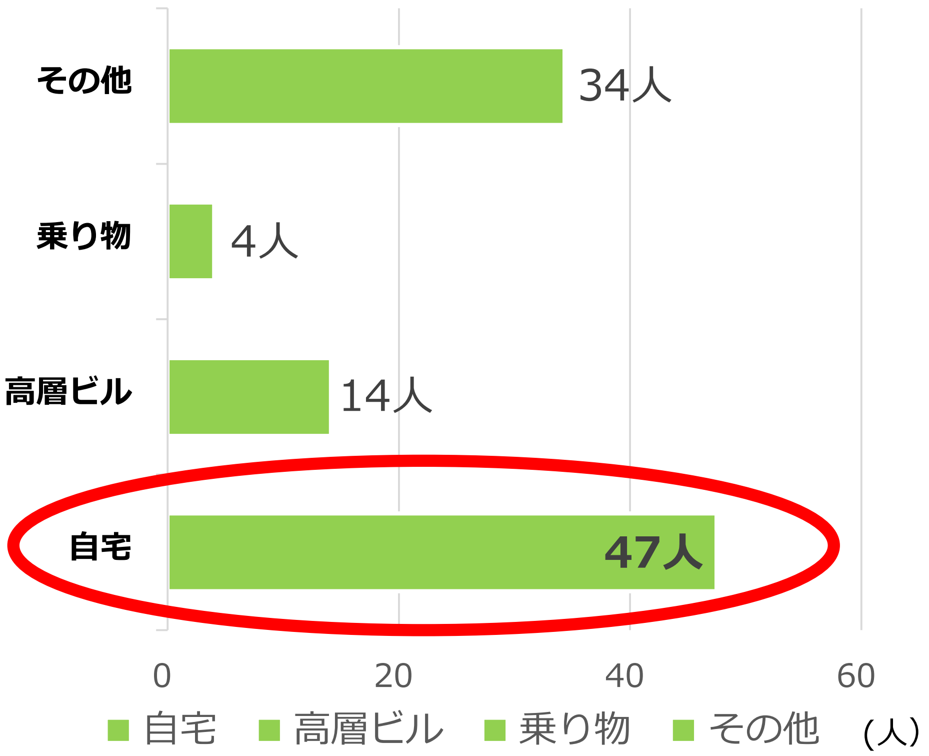
データでみるその他の特徴

場所別で見ると自宅が最も多く、手段別で見ると「首吊り」「飛び降り」が多くなっている。

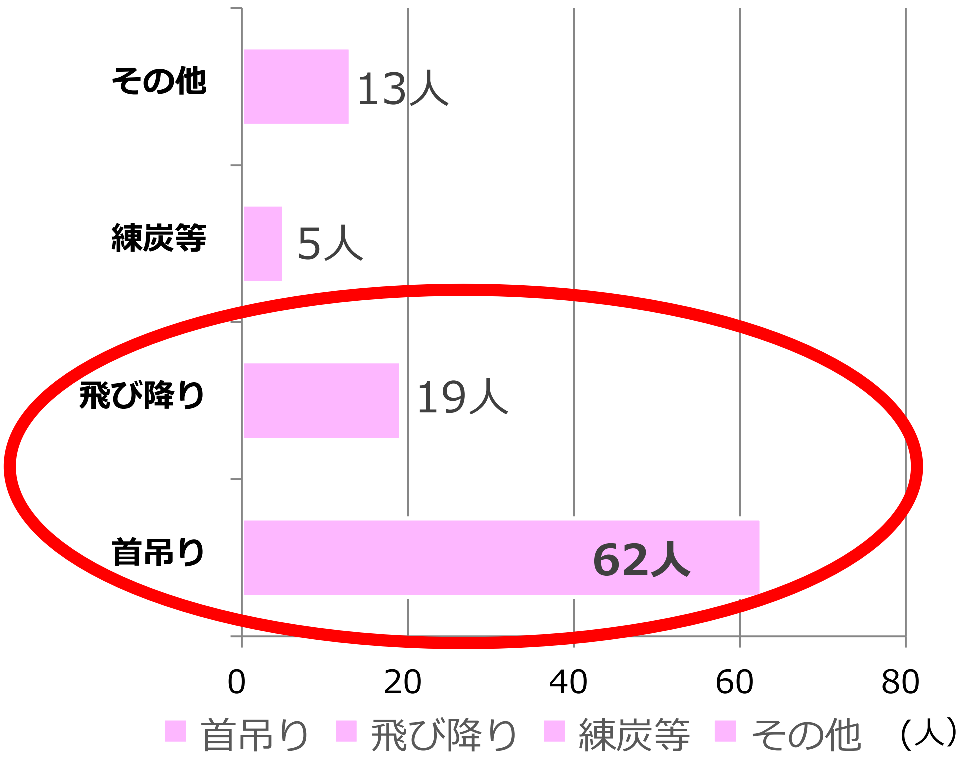
2017年～2021年

（出典：地域における自殺の基礎資料）

（図表6-1：場所別の自殺者数）



（図表6-2：手段別の自殺者数）



重点課題の整理

【 2018年（再認証） 】		【 2021年 】
課題① 男性の自殺率が高い原因が把握できていない。	図表1 図表2	課題① 女性に比べ、男性の自殺者の割合が多い傾向にあったが、コロナ禍の影響を大きく受け、女性の割合も増加している。
		課題② 若年層の自殺も増加し、幅広い年齢層で自殺が発生している。
課題② 公的な相談機関や医療機関を相談する人が少ない。	図表3－1 図表3－2	課題③ ・身近な人からの相談に対し、適切な対応になっていないことが多い。 ・同居していたとしても、自殺につながる危険なサインに気づけていない可能性が高い。
課題③ 身近な人に相談する割合が高い。正しい知識がないと、自殺に追い込んでしまいかねない。	図表４	課題④ 家庭や経済・生活問題等のさまざまな要因が複雑に絡まり、健康問題に至っているケースが多い。

重点課題（松原市における自殺の特徴）

- 女性に比べ、男性の自殺者数の割合が多い傾向にあったが、コロナ禍の影響を大きく受け、女性の割合も増加している。
- 若年層の自殺も増加し、幅広い年齢層で自殺が発生している。
- 身近な人からの相談に対し、適切な対応になっていないことが多い。
同居していたとしても、自殺につながる危険なサインに気づけていない可能性が高い。
- 家庭や経済・生活問題等のさまざまな要因が複雑に絡まり、健康問題に至っているケースが多い。

●その他の特徴

- 曜日別で見ると、週末に向かう木、金曜日が多い傾向にある。
- 自殺未遂歴がなく、自殺に至っているケースが多い。
- 場所別で見ると、自宅が最も多い。
- 手段別で見ると、首吊り、飛び降りが多い。

重点課題に対する取り組み

【課題①】
女性に比べて男性の自殺者の割合が多い傾向にあったが、コロナ禍の影響を大きく受け、女性の割合も増加している。

【課題②】
若年層の自殺も増加し、幅広い年齢層で自殺が発生している。

【方向性①】
地域におけるこころの健康づくり

【取り組み①】
こころの健康促進講座の実施

【課題③】
・身近な人からの相談に対し、適切な対応になっていないことが多い。
・同居していたとしても、自殺につながる危険なサインに気づけていない可能性が高い。

【方向性②】
自殺予防意識の向上促進と人材育成

【取り組み②】
ゲートキーパー養成講座の実施

【課題④】
家庭や経済・生活問題等のさまざまな要因が複雑に絡まり、健康問題に至っているケースが多い。

【方向性③】
相談機関の周知阻害要因の軽減

【取り組み③】
・相談機関の周知の拡充
・啓発冊子・ポスターの作成・配布

レベル別の対策①

課題	対策			
	方向性	国・府レベル	市レベル	地域レベル
(課題①) 女性に比べ、男性の自殺者の割合が多い傾向にあったが、コロナ禍の影響を大きく受け、女性の割合も増加している。	教育 啓発	・自殺対策計画の推進 ・自殺対策に関する情報の収集・分析・提供 ・補助金の交付	こころの健康促進講座の実施 **対策委員会の取り組み①③** **・「こころの健康促進講座」講師** **・自殺予防啓発パネル展** **・講座・イベント時における啓発冊子等の配布**	
	環境 整備	<u>自殺対策推進センターの運営Ⓐ</u>		
	規制	自殺対策基本法	松原市自殺予防対策推進計画	

レベル別の対策②

課題	対策			
	方向性	国・府レベル	市レベル	地域
(課題②) 若年層の自殺も増加し、幅広い年齢層で自殺が発生している。	教育 啓発	・自殺対策計画の推進 ・自殺対策に関する情報の収集・分析提供 ・補助金の交付	こころの健康促進講座の実施 **対策委員会の取り組み①③** **・若年層向け「こころの健康促進講座」** **・自殺予防啓発パネル展** **・講座・イベント時における啓発冊子等の配布** 	
	環境 整備	自殺対策推進センターの運営Ⓐ		
	規制	自殺対策基本法	松原市自殺予防対策推進計画	

レベル別の対策③

課題	対策			
	方向性	国・府レベル	市レベル	地域レベル
(課題③) ・身近な人からの相談に対し、適切な対応になっていないことが多い。 ・同居していたとしても、自殺につながる危険なサインに気づけていない可能性が高い。	教育啓発	・自殺対策計画の推進 ・人材育成研修の実施 ・補助金の交付	自殺予防意識の向上促進と人材育成	ゲートキーパー養成講座の実施
	環境整備	自殺対策推進センターの運営Ⓐ		
	規制	自殺対策基本法	松原市自殺予防対策推進計画	

対策委員会の取り組み②
- **「ゲートキーパー養成講座」実施**
- **「傾聴ボランティア養成講座」実施**

レベル別の対策④

課題	対策			
	方向性	国・府レベル	市レベル	地域レベル
(課題④) 家庭や経済問題等のさまざまな要因が複雑に絡まり、健康問題に至っているケースが多い。	教育 啓発	・自殺対策計画の推進 ・相談機関等の啓発 ・補助金の交付	・相談機関の周知 ・各種相談事業の実施Ⓑ **対策委員会の取り組み③** **・啓発冊子の作成、配布** **・自殺予防啓発パネル展** **・講座・イベントでの配布** 	相談機関の周知の拡充
	環境 整備	自殺対策推進センターの運営Ⓐ		
	規制	自殺対策基本法	松原市自殺予防対策推進計画	

国・府における既存の取り組み

●国・府による環境整備Ⓐ

国：厚生労働大臣指定法人として、
いのち支える自殺対策推進センターが発足

府：精神保健福祉に関する中核施設である
大阪府こころの健康総合センターに
大阪府自殺対策推進センターを設置

誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、
さまざまな事業を実施

国・府における既存の取り組み

●自殺予防に関わる事業Ⓐ

自殺対策推進センター

- 自殺対策に関する情報の収集・分析・提供
- 相談支援
- 自殺対策支援計画支援
- 連絡調整
- 保健所・市町村及び民間団体への支援
- 人材育成事業
- 保健所・市町村等における自殺未遂者及び自死遺族等支援への助言

松原市における既存の取り組み

●各種相談事業の実施Ⓑ

心理的な不安を取り除くための支援

・産前・産後、子育てに関する相談
・母親のための相談（ピアサロン）（月8回）
・高齢者の相談
・障がいのある人の相談
・女性相談（離婚、DVなど）（第1～4木曜日）
・若者自立・ひきこもり支援
・人権相談（第1～3金曜日）

社会的な不安を取り除くための支援

・自立相談支援
・多重債務の相談（年6回）
・各種納付相談
・ひとり親家庭就労相談

「生きること」の阻害要因の軽減を図ることが重要

取り組み①　こころの健康促進講座の実施

講座テキスト「自分のことを大切に」～こころの声を聞いてみよう～
2018年度から、**対策委員会で作成した資料**により出前講座を実施

累計受講者数　８５９人（2022年3月31日現在）

※新型コロナウイルスの影響により、2020年度・2021年度実施回数が減少。

取り組み①　こころの健康促進講座の実施

NEW

【講座テキスト絵本】

若年層への啓発活動を実施！

配布場所

・各種講座の受講者
・小・中学校での学級図書
・公共施設
・子育て支援センター
・自殺予防啓発パネル展 など

【クリアファイル】

がんばりすぎてない？ゆったりいこうよ。

対策委員会にて、実用的な啓発物の検討をおこない、クリアファイルを作成しました。

１，０００部　作成

※相談先一覧のチラシを同封し、配布しています。

配布場所

・市内の大学
・図書館
・自殺予防啓発パネル展 など

取り組み①　こころの健康促進講座の実施

・実績と計画

（出典：人権交流室）

	実績					計画
	2017	2018	2019	2020	2021	2022～
講座の受講者数		725人（6回）	134人（3回）	― ※新型コロナ感染拡大により講座中止。	パネル展を実施 ―	500人（5回）
絵本などの配布数				380部	1,100部	1,000部
対策委員会の関わり	講座テキストの作成	講座の講師として参加		・講座テキストを絵本化・配布 ・クリアファイルの作成・配布		・講座実施 ・絵本・クリアファイル配布

取り組み①　こころの健康促進講座の実施

・取り組みの評価指標（数値）

◆意識・知識（短期指標）　（出典：人権交流室）

	2017	2018	2019	2020	2021
講座理解度		95.7%	88.8%	―	―

※新型コロナ感染拡大により講座中止。

◆態度・行動（中期指標）

	2017	2018	2019	2020	2021
受講者数		725人	134人	―	―
絵本配布数		―	―	380冊	1,100冊

※新型コロナ感染拡大により講座中止。

◆状況（長期指標）　（出典：地域における自殺の基礎資料）

	2017	2018	2019	2020	2021
①自殺者数 ②自殺未遂者数	**①12人** **②28人**	**①27人** **②34人**	**①17人** **②29人**	**①23人** **②64人**	**①20人** **②51人**

取り組み②　ゲートキーパー養成講座の実施

（図表7：ゲートキーパー養成講座　累計受講者数）

（出典：人権交流室）

累計2,751人受講
（2022年3月31日現在）

市内小中学校養護教諭部会研修の様子

地域のなかで「ゲートキーパー」の役割が重要

支援をする立場にある
・職員
・相談員
・教育従事者等
を対象に講座を実施

取り組み②　ゲートキーパー養成講座の実施

傾聴ボランティア養成講座

～相手の気持ちに寄り添いながら話を聴く～

【2018年度よりテーマ別講座を実施】

寄り添って聴く・・・

傾聴ボランティア養成講座

誰かに話すことで少し気持ちがやわらかくなることがあります。
相手の気持ちに寄り添いながら話を聴くことを「傾聴」と言います。
市では「傾聴ボランティア養成講座」を実施し、傾聴の基礎からじっくり学んでいます。あなたも地域の見守り活動を一緒にしてみませんか？

一時保育あります。（１歳半から就学前までの））お子さま　１回あたり 300 円

※連続講座として受講してください。テーマはお選びいただけます。

テーマ	子育て	高齢者	ゲートキーパー
①	6月2日（木）10:00～12:00 講師：長谷川　美津代　吹田傾聴「ほほえみ」 「コミュニケーションスキルについて　」		
②	6月9日（木）10:30～12:00 講師：田崎　由佳　NPO 法人やんちゃまファミリーwith 「なぜ、傾聴が必要なのか。松原市のボランティア活動の紹介　」		
③	6月16日（木） 講師：辻　由起子 「子育て中の親の心理」	6月17日（金） 講師：長谷川　美津代 「高齢者との コミュニケーションの理解」	6月20日（月） 講師：澤井　登志 メンタルさぽーたーず Labo 「ゲートキーパー養成講座」
④	6月23日（木） 講師：辻　由紀子 「子育て支援の必要性」	6月24日（金） 講師：キャラバンメイト 「認知症サポーター 養成講座」	6月27日（月） 講師：澤井　登志 「誰もが生きやすい 地域について」
⑤	6月30日（木）10:30～12:00 講師：松原市ボランティア連絡会 実習のふりかえり・今後の活動について		

講座の時間帯は、１０時３０分～１２時です。※初回のみ１０時～

主催　松原市・（福）松原市社会福祉協議会・松原市ボランティア連絡会

受講対象者
・相談員、支援員の経験のある方
・ボランティア活動をしてみたい方

「自殺予防」をテーマとした演劇公演

2018年作品
「I　ＣＯＮＴＡＣＴ」～君にふれていたい～

演劇公演の内容

ゲートキーパー養成講座を受講した主人公が、家族や大切な人に寄り添うことの大切さに改めて気づいていく。

2018年度より、3月の自殺対策強化月間に「自殺予防」について考える演劇公演を実施しています。

取り組み②　ゲートキーパー養成講座の実施

NEW

【コロナ禍での活動】

2020年度　新型コロナウィルスの影響により無観客で実施
撮影した作品を松原市ＨＰにて動画配信中

2020年度作品
「ＳＷＩＴＣＨ」～心のスイッチを入れて～

視聴回数　**１，６８７回** （2022年8月31日現在）

2021年度は演劇公演を実施
同時撮影した作品を松原市ＨＰにて動画配信中

2021年度作品（観覧者数　200人）
「エアードロップ」～そのままのキミで～

視聴回数　**６９８回** （2022年8月31日現在）

2022年4月19日より、松原市ＨＰにて動画配信中！

取り組み②　ゲートキーパー養成講座の実施

・実績と計画

（出典：人権交流室）

	実績					計画
	2017	2018	2019	2020	2021	2022～
ゲートキーパー養成講座受講者数（累計）	**2,131人**	**2,287人**	**2,362人**	**2,517人**	**2,751人**	**3,000人**
対策委員会の関わり	・各委員の所属団体での研修の実施 ・講座でのロールプレイ演習実演 ・講座実施時での啓発冊子配布					

※2018年度より対象者を市民や職員だけでなく、支援員や教育従事者などを対象に実施しています。

取り組み②　ゲートキーパー養成講座の実施

・取り組みの評価指標（数値）

◆意識・知識（短期指標）

（出典：人権交流室）

	2017	2018	2019	2020	2021
受講者数	**146人（８回）**	**156人（８回）**	**75人（３回）**	**155人（３回）**	**234人（１０回）**

◆態度・行動（中期指標）

	2017	2018	2019	2020	2021
傾聴ボランティア登録者数（累計）	**16人**	**32人**	**46人**	**48人**	**52人**

◆状況（長期指標）

	2017	2018	2019	2020	2021
①自殺者数 ②自殺未遂者数	**①12人** **②28人**	**①27人** **②34人**	**①17人** **②29人**	**①23人** **②64人**	**①20人** **②51人**

取り組み③　相談機関の周知の拡充
啓発冊子の配布、ポスターの作成・掲示

NEW

【自殺予防啓発ポスターの作成】

●デザイン2種類

Ｂ２版　８００枚
（各４００枚作成）

Ｂ３版　１,０００枚
（各５００枚作成）

●ポスターに相談窓口も掲載

主な相談窓口一覧

相談ができる窓口（無料相談）　相談者の秘密は守ります。安心してご相談ください。

※（☎ 0120）ではじまるフリーダイヤル以外は、通話料のみご負担いただきます。

こころの健康相談統一ダイヤル

全国共通の電話番号による相談ダイヤルです。

大阪府在住の方　平日9時30分～17時
大阪市在住の方　平日10時～17時
堺市在住の方　平日9時～12時、12時45分～17時
※民間団体により、18時30分～22時30分（受付は22時まで）にも相談対応を行っています。

☎ 0570-064-556（土・日・祝日・年末年始を除く）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/jisatsu/kokoro_dial.html

よりそいホットライン（一般社団法人 社会的包摂サポートセンター）

どんなひとの、どんな悩みにもよりそって、一緒に解決できる方法を探します。

・暮らしの悩みごと　・悩みを聞いて欲しい方
・DV・性暴力などの相談をしたい方　・外国語による相談をしたい方　など

☎ 0120-279-338　24時間対応 ※電話、FAX、チャットやSNSによる相談にも対応しています。

https://www.since2011.net/yorisoi/

チャイルドライン（NPO法人 チャイルドライン支援センター）

18歳までの子どもがかける相談先です。チャットでの相談も受けています。

☎ 0120-99-7777　毎日　午後４時から午後９時

https://childline.or.jp/index.html

DV相談＋（プラス）（一般社団法人 社会的包括サポートセンター）

あなたが配偶者やパートナーから受けている様々な暴力（DV）について、専門の相談員が一緒に考えます。

☎ 0120-279-889　24時間対応

https://soudanplus.jp/

「しんどいな、不安だな」と感じていることについて、ゆっくり話してみませんか。電話で相談しづらい時は、LINEなどのSNSでも相談できるよ。

生きづらびっと（NPO法人 自殺対策支援センターライフリンク）

SNSやチャットによる自殺防止相談を行い、必要に応じて電話や対面による支援や居場所活動等へのつなぎも行います。

LINE @yorisoi-chat　チャット https://yorisoi-chat.jp/

相談時間　月・火・木・金・日：17時から22時30分（22時まで受付）
水：11時から16時30分（16時まで受付）

ココ・カラwith LINE＆電話相談（NPO法人 やんちゃまファミリーwith）

LINE・電話にて相談を受け付けています。

☎ 070-6540-8814　第2土曜日 20時～23時　第4月曜日 10時30分～13時30分　※受付は終了30分前まで

松原市天美南5-20-22

メール相談：yanchama_with@yahoo.co.jp　いつでも受け付けています。

女性相談（松原市役所）

女性カウンセラーによる相談　※要予約
毎月第1･3木曜日　9時30分～12時30分
第2･4木曜日　13時30分～16時30分

職員対応による相談　※予約優先
平日　9時00分～17時30分
夜間・休日相談　各月1回　広報で周知

☎ 072-337-3101（人権交流室）　072-332-5705（人権交流センター）

松原市セーフコミュニティ自殺予防対策委員会
みんなでつくる安心安全なまちづくり

【お問い合わせ】　松原市役所
人権交流室　TEL 072 - 337 - 3101
産業振興課　TEL 072 - 337 - 3080
地域保健課　TEL 072 - 337 - 3126
障害福祉課　TEL 072 - 337 - 3115
ホームページ：http://www.city.matsubara.osaka.jp

●掲示場所

・市内公共施設
・学校（小学校・中学校・高等学校・大学）
・地域の公園
・町会掲示板
・市内駅構内
・新型コロナワクチン接種会場など

取り組み③　相談機関の周知の拡充
啓発冊子の配布、ポスターの作成・掲示

NEW

【自殺予防啓発パネル展の実施】

～コロナ禍における取り組み～

「こころの健康促進講座」テキストの絵本や、クリアファイル、各種相談先のリーフレット等を来場者の方に配布。

日時：2022年3月15日・16日

来場者数：約120名

↓

2022年度も啓発活動を継続

取り組み③　相談機関の周知の拡充
啓発冊子の配布、ポスターの作成・掲示

・実績と計画

（出典：人権交流室）

	実績					計画
	2017	2018	2019	2020	2021	2022～
啓発冊子 ポスターの 配布部数	**4,194部**	**1,508部**	**1,822部**	**736部**	**1,464部**	**2,000部**
対策委員会の 関わり	・啓発冊子作成および配布 ・自殺予防啓発パネル展の開催					

取り組み③　相談機関の周知の拡充
啓発冊子の配布、ポスターの作成・掲示

・取り組みの評価指標（数値）

◆意識・知識（短期指標）

（出典：人権交流室）

	2017	2018	2019	2020	2021
啓発冊子・ポスターの配布部数	**4,194部**	**1,508部**	**1,822部**	**736部**	**1,464部**

◆態度・行動（中期指標）

	2017	2018	2019	2020	2021
相談件数	**52件**	**63件**	**48件**	**48件**	**64件**

◆状況（長期指標）

	2017	2018	2019	2020	2021
①自殺者数 ②自殺未遂者数	**①12人** **②28人**	**①27人** **②34人**	**①17人** **②29人**	**①23人** **②64人**	**①20人** **②51人**

取り組み　（その他）

【水曜日にSNSで自殺予防啓発】

曜日別でみると、自殺者の割合が週末に向かう木曜日、金曜日が多い傾向にある。

月に2回程度、水曜日に市公式LINEをはじめFacebookやTwitterなどのSNSを通じて自殺予防の啓発を行う。

現在の課題

課題①

性別に問わず幅広い年齢層で自殺が発生している

課題②

同居人がいても、自殺につながる危険なサインに気づけていない可能性が高い

課題③

様々な要因が複雑に絡まり、健康被害にまで及んでいる人が多い

課題④

コロナ禍において不安を抱え、孤立している人への支援が必要

今後の取り組み

取り組み①

性別や年齢別に見合った啓発活動の実施を進める

取り組み②

悩んでいる人に気づき、寄り添えるゲートキーパーを増やしていく

取り組み③

健康問題（うつ病や依存症など）についての学習会を実施し、理解を深める

取り組み④

地域の方がよく利用する場所やSNSで、相談機関の周知に努める

ご清聴ありがとう
ございました

大阪初！セーフコミュニティ国際認証都市まつばら
「みんなでつくる　安心・安全なまちづくり」